

万葉人が愛した奈良・薬猫の地

「大願寺の薬草料理」と「大和の薬」を楽しむ

日程 5月22日(日)

参加費 7,000円

(昼食代・バス代・薬草園入園料を含む)

出発 ラウンドワン前(三宮) 8時30分

定員 45人(事前申込順)

三宮をバスで出発し、奈良の三光丸クスリ資料館へ。館長さんのご案内で「大和の薬」や配置薬の歴史などを学んだ後は、大願寺で季節の薬草精進料理をお召し上がりください。午後は、森野旧薬園で250種類もの薬草が生息する姿をご覧ください。

三宮 8:30 - 阪神・阪和・南阪奈高速 - 三光丸クスリ資料館
道の駅大宇陀 - 昼食(大願寺薬草料理) - 森野旧薬園
南阪奈・阪和・阪神高速 - 三宮 17:00 頃着予定
ご参加の方には詳しいしおりで案内いたします。

初夏の森野旧薬園と三光丸クスリ資料館で「大和の薬」について見て学んでいただくほか、大宇陀大願寺の薬草精進料理をお楽しみいただくコースです。

お申し込み、お問い合わせは、薬科部まで

TEL:078-393-1803 / FAX:078-393-1802

大願寺・森野旧薬園のみどころ

森野旧薬園…250年前葛粉を作り始めて、10代目藤助が自宅裏山に開いた西日本最古の薬草園。約250種の薬草が四季折々楽しみ、薬草園から大宇陀の町が一望できる。

大願寺 …“薬草の里”として知られ、ゆったりとした風情ある街並みの大宇陀、松山城主、織田信武建立の羅紗門堂や仏足石のある境内。

十薬やウイキョウなど自生する季節の薬草を調理した薬草料理をいただきながら万葉の時代に心を馳せる。

(右; 大願寺薬草精進料理イメージ図)



参加お申込

兵庫県保険医協会薬科部宛 FAX:078-393-1802

「『大願寺の薬草料理』と『大和の薬』を楽しむ」に () 人 参加します

◎参加歓迎!

医師・歯科医師・メディカルスタッフの皆さん

お名前	職種

医院名・薬局名 ()

T E L ()

F A X ()

5月12日(木)までにお申込みください。5月13日(金)以降のキャンセルは、キャンセル料(7,000円)が発生いたします。予めご了承ください。